福島第一原子力発電所現地確認報告書

１　確認日

令和８年１０月８日（木）

２　確認箇所

瓦礫類一時保管エリアＣ（図１）

３　確認項目

瓦礫類一時保管エリアＣの状況

４　確認結果の概要

東京電力は、水処理二次廃棄物及び再利用・再使用対象を除く全ての固体廃棄物の屋外における一時保管を令和１０年度中に解消することを目指しており、各一時保管エリアにおいては廃棄物の保管のほか、分別や破砕、コンテナへの詰め替えなどの作業が実施されていることから、県では各エリアの状況等を定期的に確認している。

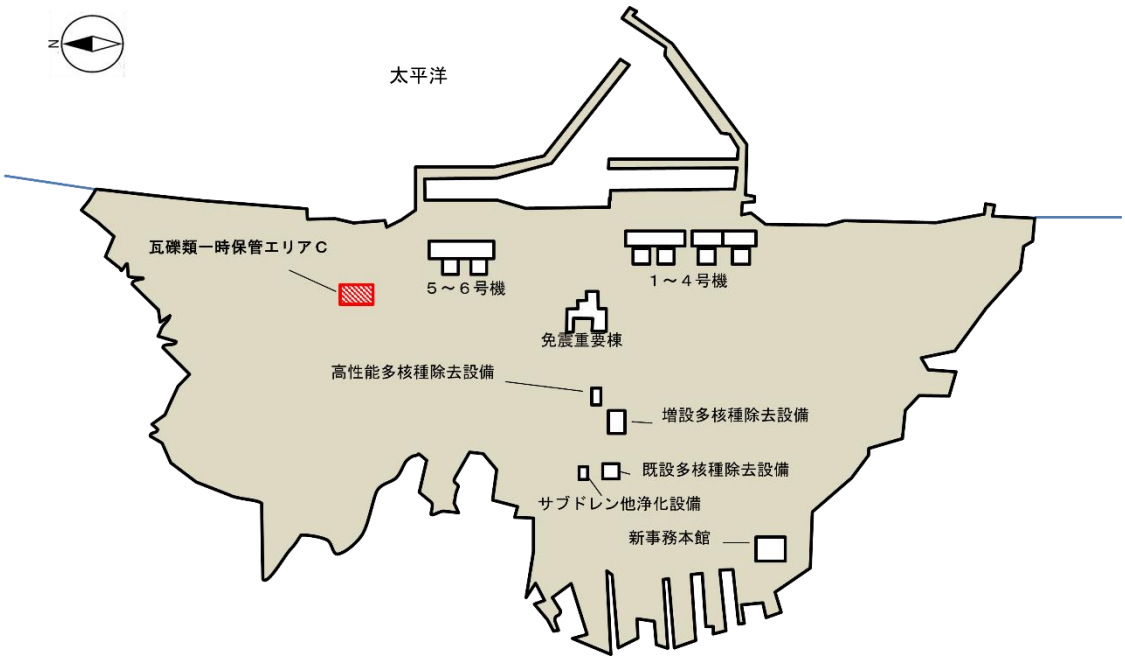
今回、瓦礫類一時保管エリアＣにおけるエリア解消作業の進捗状況等について確認した。（前回確認：令和８年８月６日）

・瓦礫類一時保管エリアＣは第１～４工区に分けられており、現場確認時は全ての工区において瓦礫類の取り出しや搬出作業が進められていた。また、前回確認時と比較して、作業がさらに進捗していた。（写真１）

・作業エリアでは、誘導員の配置や作業員用通路の設置、消火器の設置などの安全対策が講じられていた。また、ダストモニタによる空気中放射性物質濃度の監視、散水設備の設置、瓦礫類取り出し後のシート養生などの飛散・流出防止対策が講じられていた。（写真２）

・エリア周辺に設置されている側溝において、土砂等の堆積や閉塞は認められなかった。（写真３）

・確認した範囲において、瓦礫類の飛散などの異常は認められなかった。



（図１）福島第一原子力発電所構内概略図



（写真１－１）第１工区の状況（今回確認時）



（写真１－２）第１工区の状況（令和８年４月確認時）



（写真１－３）第２工区の状況（今回確認時）



（写真１－４）第２工区の状況（令和８年４月確認時）



（写真１－５）第３工区の状況（今回確認時）



（写真１－６）第３工区の状況（令和８年４月確認時）



（写真１－７）第４工区の状況（今回確認時）



（写真１－８）第４工区の状況（令和８年４月確認時）



（写真２－１）作業員用通路



（写真２－２）ダストモニタ



（写真２－３）エリア内散水設備



（写真２－４）シートによる仮養生



（写真３－１）排水溝の状況①



（写真３－２）排水溝の状況②

５　プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。